

梅雨以降の大雨に対する技術対策

【畜産】

1 家畜

- (1) 大雨に備えて、畜舎内外の排水溝の流れを点検しておく。
- (2) 畜舎内に雨が入らないように、破損箇所は事前に修理しておく。
- (3) 尿溜めや堆肥舎に雨水が流入しないように、防水対策を実施する。

2 飼料作物

- (1) ほ場に水が停滞した場合は、排水口等の整備を実施し、速やかに排水を図る。
- (2) 降水量が多くなると肥料の流亡も多く、窒素肥料を主体とした追肥を生育状況に報じて実施することで、湿害の軽減や肥料切れ等による生育の遅れを回復させる効果が見込める。